

(様式1) 学校評価 <評価:A(1・2) B(3) C(4・5) 数字はアンケート結果を加味する場合>

項目	重点目標 (○:市の重点目標 ◇:学校の重点目標)	キーワード	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校運営協議会委員(評価者)の 意見等		
学校運営	教育課程		カリキュラムマネジメント PDCAサイクル 社会に開かれた教育課程 教科等横断的な視点		○「縦割り」教科担任の配置により、教科部会でチームとして教科指導力の向上に努めることができた。 ○学校行事及び総合的な学習の時間を中心に、地域の資源を生かした教科横断的な学習を実施することができた。 △3学年総合的な学習の時間については、年間指導計画の見直しが必要である。	B	・PDCAを生かして、活動を深めたり、新たな活動を取り入れたりする。 ・感染症の状況をみながら、日程の調整を図る。 ・3学年総合的な学習の時間の年間指導計画について見直しをする。	・特色ある教育課程として、地域連携活動が推進されているが、今後も生徒の力をつけるための活動を実施してほしい。
	組織運営		適材適所 研修の充実 働き方改革		○教職員の専門性・研究分野を生かした校務分掌配置により、各教育活動の質的向上を図ることができた。 ○有識者を招いて校内研修を実施するなど、現職教育の充実を図ることができた。 △業務の適正化等を更に進めて、勤務時間の短縮に努める必要がある。	A	・校務分掌等、適材適所を考慮し、さらに組織的・機能的な運営に努める。 ・教員の専門性を生かした配置・運用を行い、生徒の学力向上に努める。 ・校内研修を充実させ、教職員の資質向上に努める。 ・業務改革推進委員会で業務改善、適正化等について推進に努める。	・生徒にとっても教職員にとっても烏山中の良い環境の中で成長してほしい。
	環境整備		施設利用 安全点検 教室配置		○「無言清掃」が定着するなど、生徒が真剣に清掃活動に取り組む様子が見られた。 ○設備や教室配置等に問題はなく、また生徒及び教職員の端末整備も整った。 △ICTを活用した学習指導を一層推進するために、教室固定のモニター及び無線で端末を使用できる環境が必要である。 △安全点検を定期的に・弾力的に実施するとともに、その後の修繕等の対応を確実にを行う。	B	・生徒の安全を優先に、校内外の安全点検等を活用して早期に対応する。 ・ICT機器の整備、管理を確実に実施し、有効活用を図る。	・ICTが整備され、今後はどのように活用するかが課題となると思う。アナログのよさ、デジタルのよさを効果的に活用してほしい。
	地域連携		地域とともにある学校 コミュニティ・スクール 地域コーディネーター		○外部講師を招聘するなど、地域の人的・物的資源を活用した地域連携活動を実施することができた。 ○学校運営協議会の学校運営がスタートし、各機関及び委員の協力により、組織の活動を軌道にのせることができた。 △地域連携活動の充実に努めたが、生徒及び保護者への発信が不十分だった。	A	・地域連携活動の教育的効果を向上させるため、ねらいを明確にした活動内容を工夫していく。 ・地域連携活動の様子をHPや各種だよりを工夫して保護者、地域へ発信していく。	・保護者や生徒は、地域連携活動を「行事」と捉えているのではないかと思う。周知の仕方を工夫してほしい。

知の教育	各教科等・学習指導	<p>○学ぶ意欲を引き出し、主体的に学ぶ児童生徒の育成に努める。 ◇主体的に学びに向かう生徒の育成に努める。</p>	<p>主体的・対話的・深い学び</p>	<p>○めあての明確化や「学習の心得」の徹底などにより、主体的に授業に取り組む生徒が増えた。 ○タブレット端末を活用して全校一斉の学力コンテストを実施し、基礎・基本の習得の一助となった。 △生徒向け、保護者向けのアンケートから、十分な家庭学習の質・量については課題があることが示唆された。</p>	<p>B</p> <p>・授業のねらいをさらに明確にし、生徒自らが課題を解決しようとする意欲を高めるための授業改善に努める。 ・「学習の心得」や「授業のきまり」をさらに徹底するなど学業指導に力を入れ、学びに向かう集団作りに努める。 ・家庭学習の質や量を高め、自主学習ノートの取組を継続させる。 ・読解力や書く力の向上のため、各教科においてその手立てを講じる。</p>	<p>・落ち着いて学習に取り組んでいる。生徒も勉強したいという雰囲気があるので、より向上を目指してほしい。</p>
	情報教育	<p>○一人一台の情報端末の有効活用 に努める。 ◇ICTを有効活用し、情報活用能力と情報モラルの育成に努める。</p>	<p>プログラミング教育 情報活用能力</p>	<p>○一人一台端末を用いて個別最適化した学び、協働的な学びができるよう研修を行い、ICTを活用した授業が展開できた。 ○総合的な学習の時間を中心に、情報活用能力を高めている。 △教科の目標に迫るための効果的なICT活用については、研究が必要である。</p>	<p>B</p> <p>・各教科のICT活用の有効な活用方法について研修を深める。 ・全教育活動において、日常的に情報モラルの向上や適切なICTの使用の仕方について指導に努める。</p>	<p>・一人一台の学習端末は、コロナ禍にあって急速な普及になった。今後は、使用方法などについてより効果的な活用をお願いしたい。</p>
	国際理解教育	<p>○英語に触れ、世界を学ぶことで、豊かなコミュニケーション能力の育成に努める。 ◇各教育活動をととしてSDGsについての理解を深める。</p>	<p>SDG's 異文化理解 英語コミュニケーション</p>	<p>○ALTを活用し、ネイティブの英語に触れる機会が多く設定できている。 ○生徒会を中心にSDGsの取組が進められている。 △日本語指導が必要な外国籍の生徒に対して支援が必要である。</p>	<p>B</p> <p>・英語科以外のALTの活用について検討し、生徒が日常的に英語に触れる機会を設定する。 ・日本語指導が必要な生徒への支援プログラムを構築する。 ・各教科等において、SDGsとの関連を指導計画上に明記し実践する。</p>	<p>・日本語指導が必要な外国籍の生徒がたくさんいることに驚いた。コミュニケーションはとれるようになり、学習支援や保護者との連携も大変かと思う。</p>

心の教育	児童・生徒指導	○自己指導能力の育成を図り、課題を解決できる児童生徒の育成に努める。 ◇「居心地のよい学校」をめざし、生徒の自己指導能力の育成に努める。	いじめ不登校自己指導能力キャリア教育	○生徒の支援について、全職員で組織的に対応する支援体制が構築できている。 ○生徒会、学級役員など、リーダーを中心とした自治的な活動を展開する中で自己指導能力の育成が図られてきた。 △健康状況や心に不安を抱える生徒に対して、教育相談的な対応を充実させる必要がある。	A	・教育相談的機能を生かし、生徒に寄り添った支援を心がける。 ・ICTやSNS等の適切な使用については、家庭との連携を強化する。	・SNSの問題は、社会問題となっている。家庭の協力が必須であり、PTAと連携して取り組む課題である。 ・コミュニケーションのルールなど、生徒に考えさせる活動を取り入れてもよいと思う。
	特別支援教育	○共生社会に向け、自分の意見を持ち、他者の意見を認め合う雰囲気づくりに努める。 ◇一人一人の教育的ニーズを把握し、必要な支援や適切な指導に努める。	インクルーシブユニバーサルデザイン合理的配慮自立活動	○特別支援教育について理解を深め、雰囲気よく共生社会に近づいている。 ○今年度は、教員の配置により専門的な授業を行うことができた。	A	・関係機関との連携に努め、全校体制で個に応じた支援に努めていく。	・現状維持ができればよい。
命の教育	健康教育	○自分の健康を管理し、健やかに生活する児童生徒の育成に努める。 ◇健康の自己管理を行い、主体的に心身の健康の保持増進ができる生徒の育成に努める。	保健教育保健管理	○感染症予防対策(検温、換気、加湿など)に対する生徒の意識が定着してきて、感染症拡大に努めることができた。 △生徒の健康状況やけがの状態などを把握し、適切な対応に努める必要がある。	A	・感染症対策については、引き続き予防に努める。 ・主体的に自己の健康管理ができるよう、さらに啓発していく。また、心身とも安定した学校生活を送れるよう教育相談体制を強化する。	・感染症対策は、生徒の安全・安心を考えて、今後の状況をながら継続してほしい。
	安全教育	○危機意識を高め、安全な生活について判断・実践できる児童生徒の育成に努める。 ◇自らの危険を予測・回避でき、健康で安全な生活を送ることができる生徒の育成に努める。	危機管理生活・交通・災害安全	○交通安全教室(1年生)、日常の下校指導、PTAによる下校指導、バス乗車指導等を行い、交通安全に関する意識の高揚に努めた。 ○避難訓練では、消防署の職員による訓練を行い、防災に関する意識づけができた。	B	・安全な登下校、反射たすき着用など、委員会活動を活用して生徒が主体的に安全への意識を高められるようにする。	・生徒の命を優先して、救急搬送も迷わずにしてほしい。
	食に関する指導	○食への関心を高め、健康維持に励む児童生徒の育成に努める。	給食管理アレルギー	○給食の残量を減らすための声掛けを行い、食への感謝の気持ちを育てよう努めた。 ○アレルギーに関しては、教職員で共通理解を図り対応している。	B	・アレルギーについては、専用給食等の対応を含め、生徒の命を守るために全職員で安全管理を徹底する。 ・SDGsの考えを考慮した食の指導に努める。	・食に関する指導(感謝の心、食文化)など、工夫して取り組んでほしい。